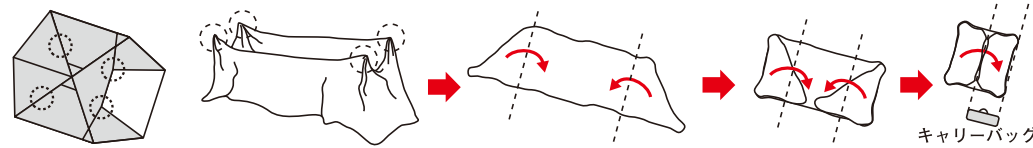




撤収手順

STEP 1 フライシートを固定したロープ、ペグ、バックル、内側にある面ファスナーテープをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにたたみます。

注意 テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

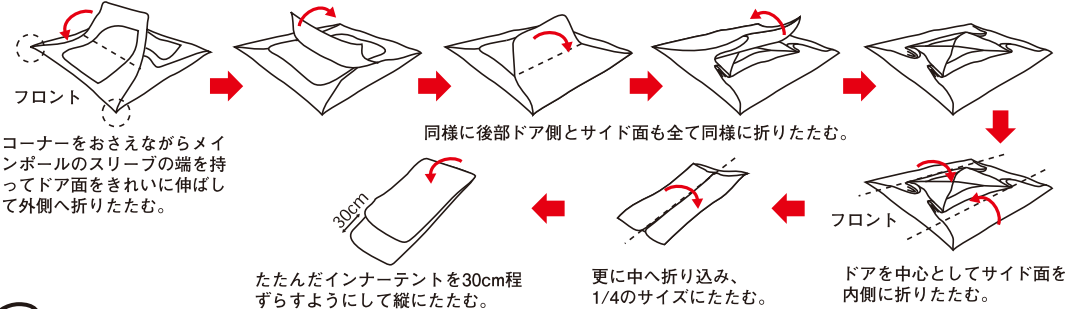


前後の屋根の四隅(○印の箇所)を持ち、中央を折り込みながら半分にする。

両端を中へ折り込んで長方形にする。

長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

STEP 2 インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



コーナーをおさえながらメインポールのスリーブの端を持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。

同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。

たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。

STEP 3 ポールを全ておとりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

巻き終わったフライシートを芯にして巻いていく。

注意 ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

TOURING DOME/LX

[ツーリングドーム/LX]

取扱い・組立て説明書



※品番により一部仕様や見た目が異なります。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ

コールマンカスタマーサービス : **0120-111-957**

受付時間 : 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

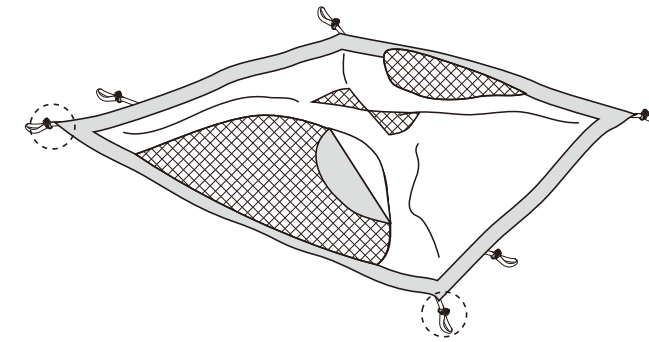
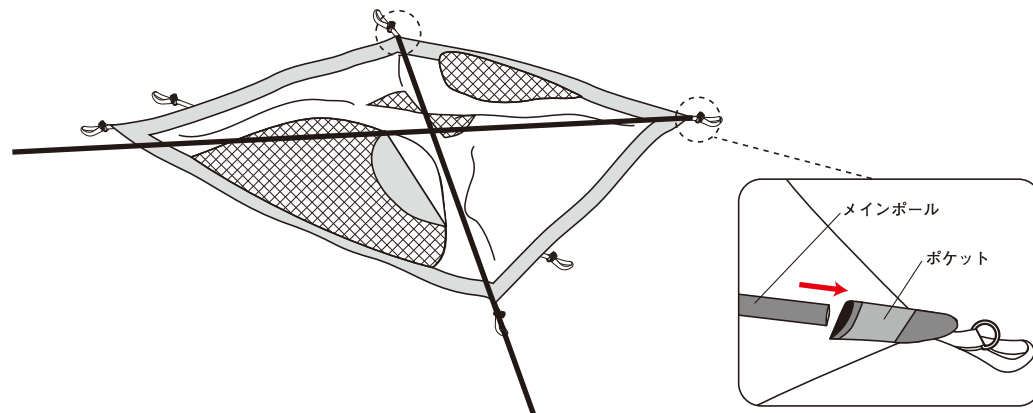
設 営 手 順 (営)

II 本体を立ち上げる

STEP 2 メインポール(ブラック)2本を伸ばします。

! **注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 メインポールのリア側の端を、インナーテントのリア側コーナーにあるポケットに差し込みます。2本が交差するよう、対角線のコーナーに差し込みます。



STEP 5 立ち上がり



! **注意** フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

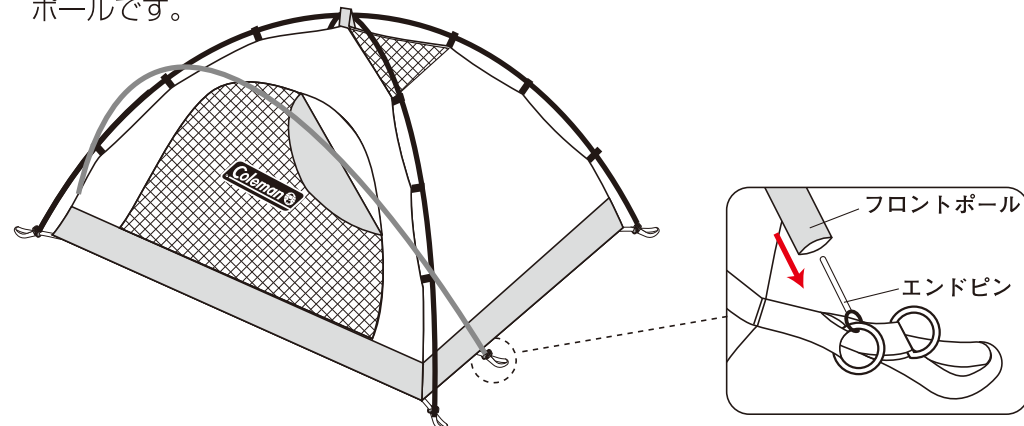
III フロントポールをセットする

STEP 6 フロントポール(グレー)をのばします。



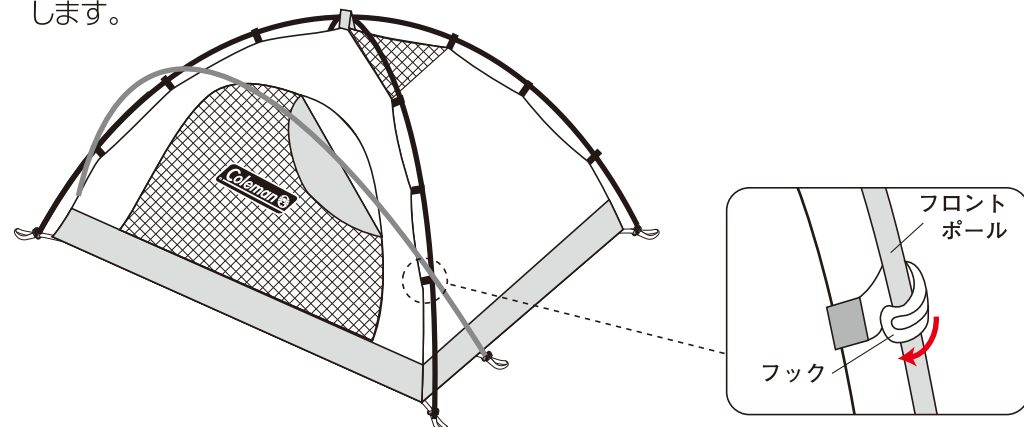
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 7 フロントポール(グレー)を、インナーテントのサイドにあるテープ(グレー)についているピンに差し込みます。フライシートをかぶせた時に前室の部分として必要なポールです。



注意 ポールを差し込む際、指をはさまないように注意してください。

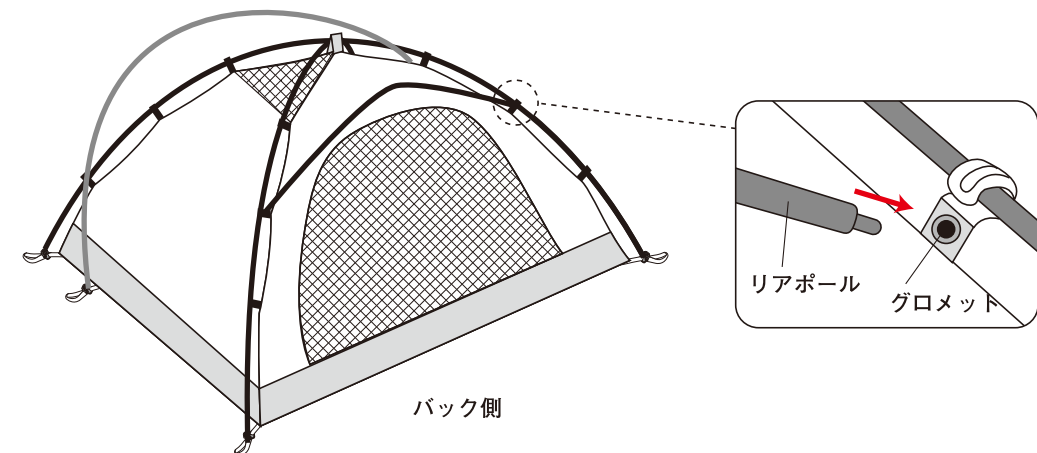
STEP 8 インナーテントについているフック(テープがグレー)をフロントポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

IV リアポールをセットする

STEP 9 リアポール(ブラック)を、インナーテントのサイドにあるテープについているグロメットに差し込みます。フライシートをかぶせた時に後室の部分として必要なポールです。



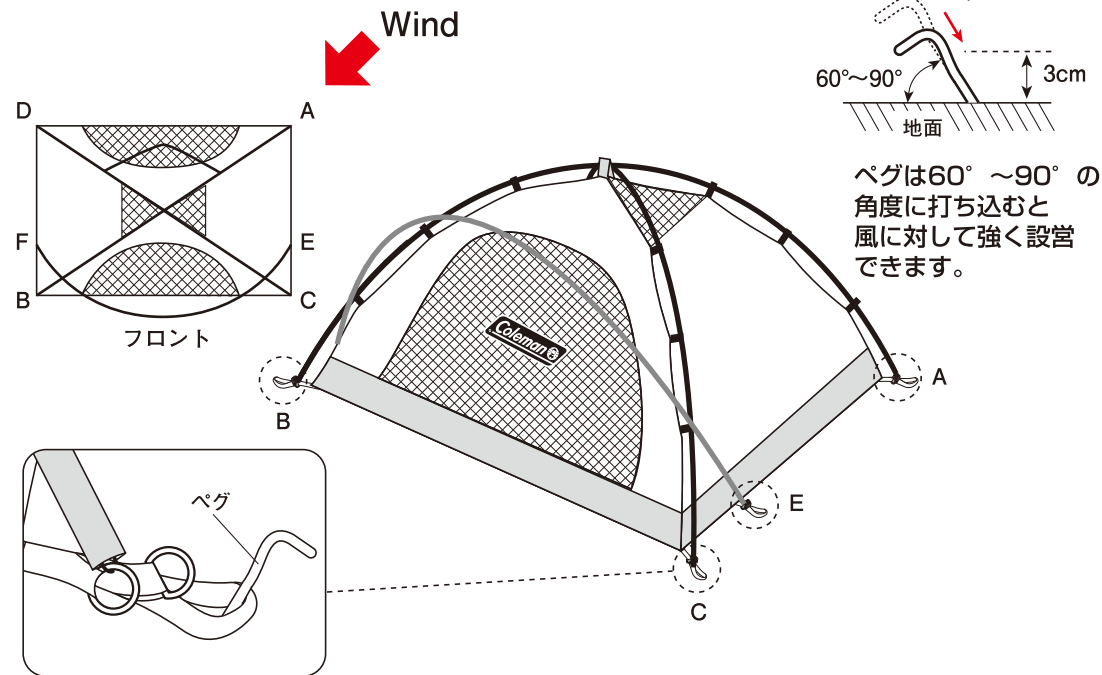
V 設営位置を決め固定する

STEP10 前後のファスナーをすべて閉めます。



注意 ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

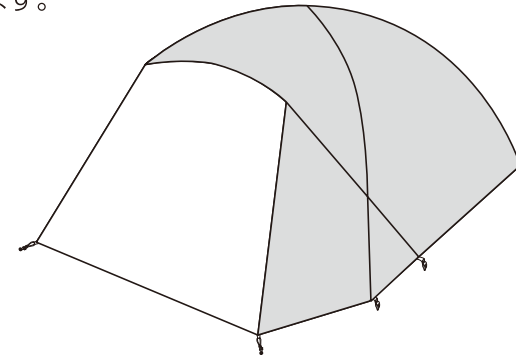
STEP11 設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に(A~F)対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



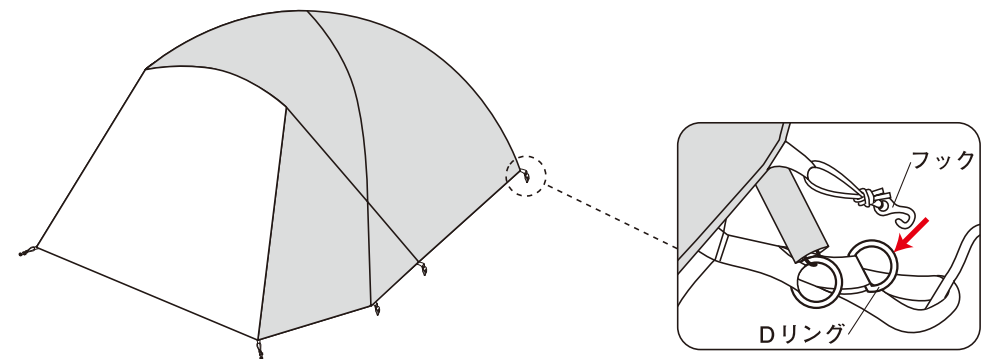
注意 フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

IV フライシートをかぶせる

STEP12 フライシートをかぶせます。この時に、フロントポールはフライシートの内側になります。

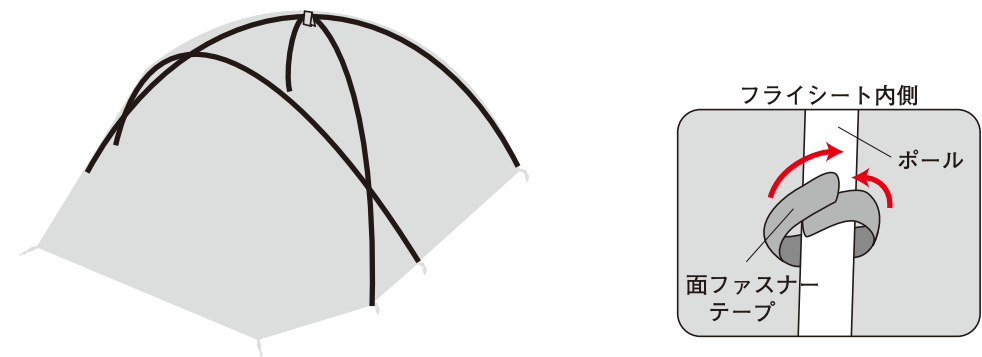


STEP13 フライシートの端についているフックを、インナーテントコーナーのループについているDリングにかけます



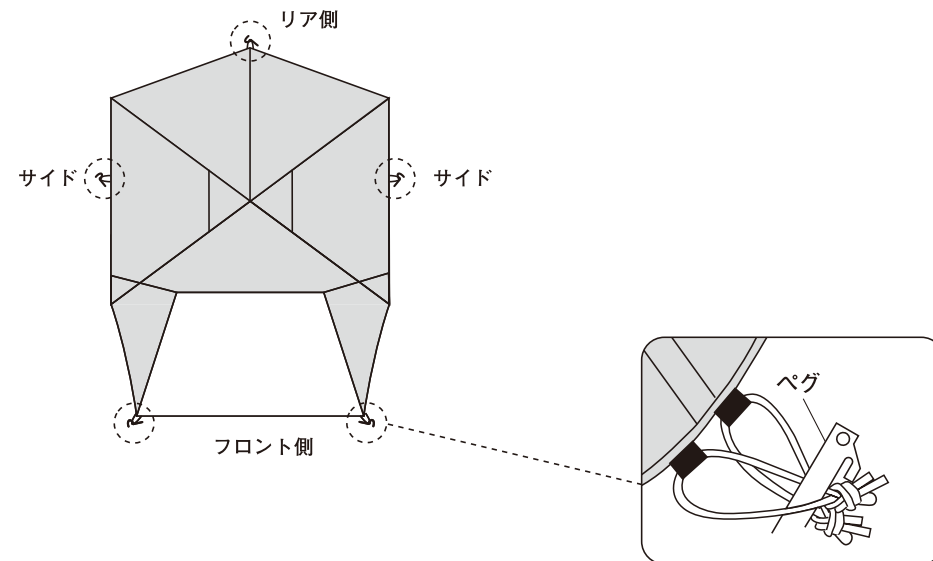
注意 テープを引きすぎないように注意してください。フライシートが破損するおそれがあります。

STEP14 フライシート内側にある面ファスナーテープを、それぞれのポールにとめて固定します。メインポールとフロントポールの交差部は、両方のポールを巻き込むように面ファスナーテープで固定します。



VII ペグで固定する

STEP 15 フロント、リア、サイド側のループを張り出し、ペグで固定します。



注意

ループを引きすぎないように注意してください。ファスナーに負担がかかりフライシートが破損するおそれがあります。ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

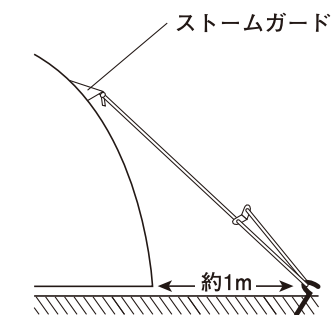


注意

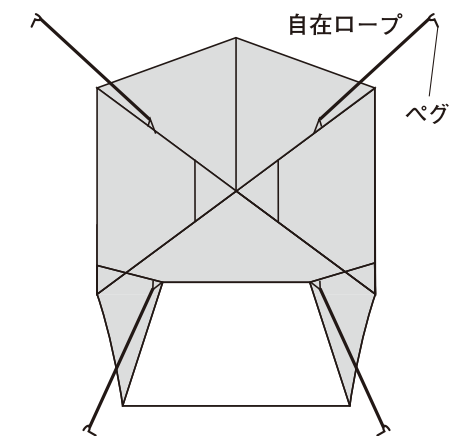
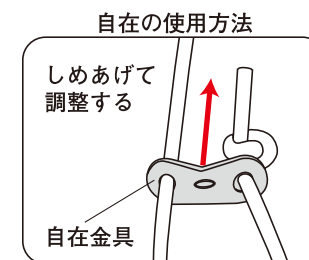
フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。ストームガードを張り、フライシートとインナーテントの間に空間をつくるように、必ずご活用ください。

VIII ロープを張り固定する

STEP 16 ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。ストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。



上図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



注意

テントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

■フロントロールアップについて

フロントキャンピーにはループとトグルが付いています。下から巻き上げて途中でとめることにより換気が可能になります。雨が降っているときなど、キャンピーを閉じたまま換気したいときに有効です。

